

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	獣害被害木の有効利用手法検討(新規)
流域名	鬼怒川、 渡良瀬川
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> ・被害木販売についての聞き取り調査 平成22年12月3～10日 販売物件調査 平成22年12月13・28日、23年1月21日 合板用材としての販売 平成23年1月20日 製材用材としての販売 平成23年1月25日
取組の背景及び必要性	<p>近年クマによる樹木の皮剥被害が著しく、被害を受けた樹木は、腐朽や変色が進行し、元玉部分が、一般用材として販売できない状況になっている。</p> <p>試験的な販売を実施し、有効な利用手法を検討することで、木材の有効利用に資する。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 被害木のサンプルを用いて、製材業者等から、販売可能な径級、被害の程度について聞き取り調査を実施。 2 製材業者等と、山土場で、販売対象材についての意見交換。 3 試験販売木（合板・製材用）の調査 4 合板用材 43m³、製材用材（心材部で評価）15m³を、試験販売 5 合板用材としての試験挽結果の聞き取り、製材工場における販売木の製材状況の調査を実施。
国有林担当部局・役割	日光森林管理署
連携協働相手先・役割	製品生産請負事業者

【参考資料】

取組名 獣害被害木の有効利用手法検討(新規)



試験的販売を実施した被害木



被害木の製材

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	クマ被害総合対策事業（拡充）
流域名	鬼怒川、渡良瀬川
実施箇所及び実施日	10月18日 栃木県日光市足尾町の国有林において意見交換会を開催 12月1日 上記区域に新規資材を設置した固定プロットを追加設定
取組の背景及び必要性	近年、栃木県内においては、クマによる樹木の皮剥被害が、国有林、民有林ともに多発し、効果的な被害防除手法の検討が重要な課題となっている。
取組の内容	<p>1 「野生鳥獣との共生に向けた生息環境等モデル事業」の対象地域を活用して、宇都宮大学、県、市、宇都宮水源林整備事務所、林業事業体、局職員など38名参加による、クマ被害対策についての意見交換会を開催。</p> <p>意見交換会においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 対象区域(271ha)におけるクマ被害の状況 ② 3種類の被害防止対策を実施した固定プロットにおける設置から1年目の効果 ③ 宇都宮大学考案の新たな防止資材の紹介 <p>を行ったのち、参加者間の情報提供、意見交換を実施。</p> <p>2 宇都宮大学考案による新たなクマ被害防止資材を、考案者の指導を受けて設置し、追加プロットとして設定。</p>
国有林担当部局・役割	日光森林管理署
連携協働相手先・役割	宇都宮大学、栃木県、管内市町

【 参 考 資 料 】

取 組 名	クマ被害総合対策事業（拡充）
	
<p>意見交換会を開催</p>	
	
<p>新たな防除資材の紹介</p>	<p>クマ剥ぎ防止ロープの巻き付けの実演</p>
	
<p>自動撮影カメラによるクマの侵入状況</p>	<p>参加者による取組状況の紹介</p>

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育推進事業（拡充）
流域名	鬼怒川、渡良瀬川
実施箇所及び実施日	日光市 ①足尾町：4月24日、②丹勢山：6月12日、10月6日、③湯西川：7月22日、④奥日光：9月4日 足利市 ⑤大坊山：4月25日 宇都宮市 ⑥鞍掛山：6月26日、⑦新里町：9月19日 ⑧新里町：11月20日、21日
取組の背景及び必要性	地元や首都圏の企業をはじめ、ボランティア団体等からの要請を受けて、体験林業等を実施。森林にふれあう体験活動への参加を通じて、森林の役割や森林整備の必要性等への理解増進が期待できる。
取組の内容	① CCC 会員とホンダ技研社員による、足尾煙害跡地への植樹を実施。職員から足尾治山事業の経緯と森林の役割について説明。 ② ドコモの森（法人の森林）会員による、下草刈りや記念植樹、ベンチ補修などを実施。 ③ 森と湖に親しむ旬間行事の一環として、地元及び千葉県からの参加者に森林の働きを説明するとともに、間伐体験を実施。 ④ 連合栃木の呼びかけによる参加者に、天然更新を誘導する作業体験を実施。 ⑤ 大坊山のハイキングイベントにおいて、丸太切り等のコーナーを設置。 ⑥ キリンビール（株）栃木工場の社員による下刈り体験を実施。 ⑦ 「もくもくまつり」に参加協力し、2人挽き鋸での丸太を切り、円盤の重さ当てクイズを実施。 ⑧ 「宇都宮市農林業祭」において、丸太切り・焼き印等のコーナーを設置。
国有林担当部局・役割	森林管理署：イベントへの参加協力、フィールドの提供
連携協働相手先・役割	国土交通省：③の実行委員会等、栃木県：③、⑦の実行委員会等、千葉県、宇都宮市、日光市：③の実行委員会等

【参考資料】

取組名 森林環境教育推進事業（拡充）



①足尾煙害跡地における植樹



②法人の森林における森林整備活動



③「森と湖に親しむ旬間」行事の間伐体験



④草本をクワで除去することで天然更新を誘導



⑤大坊山のハイキングイベント



⑥ボランティアの森林における下刈



⑦もくもくまつり2010



⑧宇都宮市農林業祭

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	災害に強い搬出路整備に向けた現地検討会の開催（継続）
流域名	鬼怒川
実施箇所及び実施日	11月26日 栃木県日光市藤原の国有林において現地検討会を開催
取組の背景及び必要性	間伐を推進するためには、コストの低減が重要な課題。 現地の転石や伐根等の資材を利用して、災害に強い搬出路を作設することで、間伐コストの低減、水土保持機能の高度発揮が期待できる。
取組の内容	間伐事業実行箇所において、栃木県、日光市、宇都宮水源林整備事務所、林業事業体など29名参加による、搬出路作設についての現地検討会を開催。 検討会においては、 ① 伐根を利用した路肩補強の状況説明 ② 現地の転石を利用した、洗い越しの作設実演 ③ 使用した高性能林業機械の操作性、搬出路の作設工程等についての意見交換を実施。
国有林担当部局・役割	日光森林管理署
連携協働相手先・役割	栃木県、管内市町

【 参 考 資 料 】

取 組 名 災害に強い搬出路整備に向けた現地検討会の開催（継続）



検討会の開催



路肩補強の状況説明



高性能林業機械による洗い越しの作設実演



洗い越しの完成



意見交換

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	林業技術の普及・啓発（新規）
流域名	鬼怒川
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月7日、10月20・21日 日光市足尾治山事業施行地に設定している固定プロットの植生調査を実施。 ・ 12月13日 固定プロットの位置看板を設置。
取組の背景及び必要性	<p>足尾治山事業施行地内に設定されている、単調な緑化植生から地域の多様な植生に誘導する植栽試験地において、設定5年後の植生調査を実施。</p> <p>植栽木及び天然更新の成長状況を継続調査することで、地域在来の多様な植生に誘導する技術の普及・啓発に資する。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロット設定から5年を経過した4箇所（各 200 m²）の試験地において、ミズナラ等 12種の植栽木及びウダイカンバ、リョウブ等の天然更新木の樹種・樹高を測定。 2 現地に、箇所を明確にする位置看板を設置。 3 試験地内の植栽木及び天然更新木の生育状況を、写真及び表で紹介するパンフレットを作成。
国有林担当部局・役割	日光森林管理署
連携協働相手先・役割	

【参考資料】

取組名 林業技術の普及・啓発（新規）



試験地内の植栽木及び天然更新木（ウダイカンバ、リョウブ等）の成長状況を調査

密生したリョウブ

樹高3m以上に成長したウダイカンバ



植生導入試験地の位置標識

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林と野鳥に親しむつどいの開催（継続、名称変更）
流域名	鬼怒川
実施箇所及び実施日	日光市所野字日光小倉山：（日光・小倉山自然観察教育林） 野鳥観察会、木工工作 5月30日、12月5日
取組の背景及び必要性	<p>平成16年10月に日本野鳥の会栃木県支部と日光森林管理署で日光市市街地に近い「小倉山野鳥の森」の利用に関する協定を締結。</p> <p>森林と動植物とのつながりや森林から生み出される木材の良さについての理解増進を図るため、毎年参加者を公募して、「森林と野鳥に親しむつどい」（野鳥観察会及び木工教室）を開催。</p>
取組の内容	<p>日本野鳥の会栃木県支部、日光市、日光森林管理署による連絡調整会議を開催し、実施内容について打ち合わせ。</p> <p>調整結果を踏まえて、年2回、「森林と野鳥に親しむつどい」（野鳥観察会及び木工教室）を開催。</p>
国有林担当部局・役割	森林管理署：参加者の募集、森林教室、木工教室、一般参加者への森林の役割等の説明
連携協働相手先・役割	日本野鳥の会栃木県支部：野鳥観察の指導・説明 日光市：施設の貸与

【参考資料】

取組名	森林と野鳥に親しむつどいの開催（継続、名称変更）
-----	--------------------------



野鳥観察会



木工工作

